

平成25年度北陸地区国立大学学術研究連携支援報告書

研究グループ名	北陸地区音声・音響・超音波連携研究コンソーシアム (支援期間：平成24年度～平成25年度)			
大学名	所属	氏名		
北陸先端科学技術大学院大学	情報科学研究科	赤木正人 ○宮内良太 川本真一		
金沢大学	理工研究域 電子情報学系	○三好正人 齋藤毅		
福井大学	工学研究科	森川博由 ○谷口秀次 森幹男		
富山大学	大学院理工学研究部 (工学)	○佐藤雅弘 参沢匡将		
※ 各大学の研究グループ責任者の氏名には○印。				
その他の機関の構成員	機 関 名	所 属	職 名	氏 名
	金沢工業大学	工学部	教授	青木茂明
	富山県立大学	工学部	講師	中井 満
	石川工業高等専門学校	電子情報工学科	教授	金寺 登
成果概要	<p>「音（音楽や音声）」はヒトが生きる上で重要な情報伝達手段である。北陸地区には、様々な研究分野にまたがる音に関して、異なる角度から研究する専門家が集まっており、各分野において多くの業績を残している。また、音に関する製品を開発・製造する企業も多数存在する。研究者が持つ様々な技術シーズと企業のニーズを有機的に結びつけることが出来れば、研究成果と新製品を創出できる可能性が高い。そのためには、北陸地区の研究者や技術者が最新の情報を定期的に交換し合えるような密なネットワークが必要である。そこで、北陸地区の4国立大学が核となり、地区内の公立大学、私立大学、工業高等専門学校、さらには地元企業とも連携し、北陸地区音声・音響・超音波連携研究コンソーシアムの設立を目指すことを目的として、平成24・25年度で、合計4回の連続合同セミナーを4国立大学が1回ずつ主催した。具体的な開催内容は以下の通りである。</p> <p>@平成24年11月「第1回北陸合同音響セミナーin福井」「響のホール」 企業の研究者・技術者、学生、一般市民を対象として開催した。地元音響製品開発・製造企業のテクニカフクイの市橋政信氏による講演のほか、大学教員による音に関する研究のやさしい解説、口笛奏者の分山貴美子氏による口笛ライブ演奏が行われた。この講演会・演奏会には大学関係者、地元企業、音に興味を持つ一般市民がそれぞれ3分の1ずつの計80名の参加者があり、コンソーシアムの基盤を築く事ができた。</p> <p>@平成25年2月「第2回北陸合同音響セミナーin金沢」「金沢大学サテライトプラザ」 地元企業や県工業試験場の音響技術・研究者を含む3件の招待講演と、企業を含む16件のポスター発表があり、活発な議論が行われ、34名の参加者があり、研究内容に踏み込んだ連携を強化することができた。</p> <p>@平成25年11月「第3回北陸合同音響セミナーin富山」「明治安田生命ホール」 企業の研究者・技術者、学生、一般市民を対象として開催した。富山クラフトオーディオクラブの加藤敏久氏による講演のほか、大学教員による音楽の印象に関する解説、豊富で多彩な音楽経歴を持つ3人で活躍しているトリオ The がーびるによる演奏が行われた。この講演会・演奏会には122名の参加者があり、コンソーシアムが着実に大きくなっていることが示された。</p> <p>@平成25年12月「第4回北陸合同音響セミナーin金沢」「金沢大学サテライトプラザ」 企業の若手研究者3名による講演、若手研究者および学生による研究ポスター発表(16件)、学生・若手フォーラムセッション(5件)を行い、活発な議論が行われ、51名の参加者があり、これから北陸で活躍するであろう若手技術者の育成を通して次の世代に繋がる連携をより強化することができた。</p> <p>これらのセミナーでの交流を通して、北陸地区音声・音響・超音波連携研究コンソーシアムの基盤を固める事ができた。これら連続合同セミナーは今後も継続して行うことで、今後さらに地区内の国立大学、公立大学、私立大学や工業高等専門学校、地元企業との連携が強化されることが期待できる。</p>			
獲得した外部資金	平成25年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究A（研究代表者：赤木正人，25240026）に採択（北陸先端大，金沢大）			